

支え促す体験学習

高橋平徳(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 准教授)

講師略歴

専門は生涯学習論、経験学習論、組織論(人的資源管理)、教員養成。2002年早稲田大学教育学部卒業、2011年早稲田大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。2016年北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。修士(教育学)、博士(経営学)。2011年千葉大学大学院看護学研究科特任助教、2014年札幌医科大学医療人育成センター特任助教を経て2015年より現職。著書に高橋平徳・内藤知佐子編著『体験学習の展開』(医学書院、2019)、「救急救命士の経験学習プロセス:医療専門職間の連携に注目して」松尾睦編著『医療プロフェッショナルの経験学習』(同文館出版、2018)がある。

プログラム概要

私たちは日々何かを体験し、それをもとに考え、自分自身を作っています。皆様も1人の人間として体験を重ね、今のあなたをつくられているでしょう。また、教職員として、学生やスタッフにも豊かな体験を与え成長してほしいと考えておられるでしょう。

体験学習とは具体的にどのようなもので、どのように実践していけばよいのでしょうか。その重要性を実感していながらも、いざ実践となると、とまどわれるのではないのでしょうか。

本プログラムは、「支え促す体験学習」として、より効果的に体験学習を行えるよう、体験学習の基本的な考え方や、支援の視点、発問や応答といった具体的な言葉がけの方法をおさえることができる機会となるよう構成しています。

本プログラムは、これから体験学習を企画される方はもちろん、現在運営されている方の実践の振り返りにも貢献できると思います。興味のある方はぜひ参加をご検討ください。

準備物・事前課題

特になし。

主な受講対象者

体験学習の理論や実践に関心のある教職員

到達目標

1. 体験学習の概念を説明できる。
2. 体験学習の過程を説明できる。
3. 成長を促しやすい体験を説明できる。
4. 体験学習を支援し促す視点を説明できる。
5. 体験学習を支援し促す方法を説明できる。

日時

8月24日(水)15時15分～17時15分